

皆様
お久しぶりです



中村 光代 先生
(旧姓 今関)

民生児童委員をしています



皆様お変わりありませんか。私はとうとう「後期高齢」の世代に足を踏み入れました。

思いおこせば、九里学園にお世話になったのは、新潟沖地震のあった昭和三十九年から平成十六年までの四十年間でした。退職してから十四年も過ぎておりますから、新採の年から五十四年、半世紀以上も過ぎてしまっているのです。子育ても遠い昔、仕事も退き時間の余裕が出来てくると昔のことが懐かしく思い出す時が多くなりました。

今は幻となった校舎、生徒数が一、五〇〇名を超え一クラスが五十一名、一学年が十一クラスという大所帯、そこでの学園生活で今でもなつかしく思い出されるのは、冬のダルマストーブや全校一斉の大掃除、素足でタワシをもってせつせと磨く姿など、

ここに書き尽くせないほどの色々な行事の中で、喜びや苦しみを共にした日々です。

時代の変化と共に学園も大きく変わりましたが、まだ現存する正面玄関を見上げホッとする気持ちになります。

半世紀を過ぎた今、より便利にと日常の暮らしの様子が一変、人工知能が人間の思考を追い抜く時代、もしかしたら私の介護もロボットの世話になるのかと恐ろしい気がします。

数年前から民生児童委員の仕事を引き受け、一人暮らしの方々の訪問等を行っておりますが、年を重ねても明るく前向きに生きておられる方が多く、逆に教えられる場面があります。やはり青春とは年齢ではなく、心の持ちようなのだと実感しています。皆様もどうぞ、前向きによりき年を重ねて下さるようお祈りしております。

九里祭参加 同窓生作品展 8/27
デコレーションの作品をつくる



今年も飯豊支部の皆さんをはじめ、卒業生の絵画や書、写真、手芸品、生け花にフラワーアレンジメントで、会場いっぱい飾っていただきました。体験コーナーでは、消しゴムはんこで活躍中の田辺香純さん(H8年卒)。パッチワーク、かわいい小物、いろいろなものにデコレーションをしてオリジナル作品を、松浦誠子さん(S61年卒)から教えて頂きました。小さいお子さんから大人まで大いに盛り上がり作品を作りました。

お陰様をもちまして、楽しく一日中笑い声が絶えない会場となりました。来年も、「我こそは」と思う方には是非ご参加いただき、さらに盛り上がりしたいと思いますので、ご協力宜しくお願いします。